



# デジタル未来推進 P T



デジタル未来戦略策定に向けて  
令和4年度最終報告



# デジタル未来推進 P T の歩み

時期	活動概要	PT開催
～ R 3 年度	市民アンケートなどの結果をもとに、今治市のデジタル化に関する課題を検討	
R 4 6月	キックオフミーティング（愛称の検討→「ミライマバリ」）	1回
7月 ～8月	P Tによる基本戦略案の磨きこみ	2回
9月	基本戦略（案）の策定、パブリックコメントの実施	1回
10月	<b>事業者ワークショップ</b> の開催 デジタルソリューション勉強会	1回
11月 ～12月	P Tによる実施戦略案の磨きこみ	2回



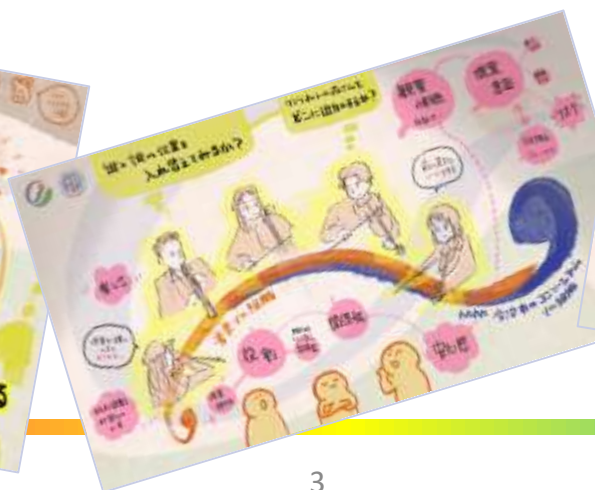
# コンソーシアム形成に向けて



10月17日（月）

市内外のデジタル関係の事業者7社と、PTメンバー6名＋関係課職員でワークショップを開催しました。  
（計26名参加）

コンソーシアムの意義や位置づけについて意識を共有し、今後の活動の基盤づくりを行いました。





# デジタル未来戦略（概要版）

2022年度「今治市デジタル未来戦略策定事業」

**ミライマバリDXプラン 概要版**

—今治市デジタル未来戦略—

／ミライマバリ／

今治市のデジタル未来戦略のキッカケフレーズは「ミライマバリ」です。  
これはミライ mirai + mabari(マバリ)の略称です。  
DXは目的ではなくあくまで手段であり、考えるべきは今治の未来です。  
その未来に向けて考えていく活動を、シンプルに分かりやすい言葉で表現しました。  
[「市民」を「今治」の「未来」を語る「真ん中」に据えて、取組み姿勢とアクションを体現しています。  
市役所内の部署間で連携することらと、市の事業者様、市民の皆さんと連携することで、  
日本のどこにもない、あたたかみのあるDXを今治市で実現していきます。

デジタル未来戦略の基本方針

【コンセプト】

**人に寄り添う日本—アナログなDX**

【実行方針】

**「市民が真ん中」になる活動、  
時間を生み出す「しない」DX**

【実行成果】

**誰もが住み続けたい「心地良さ」「便利」**

関係指標—シビックプライドを示す居住・居住推進意欲の向上

↓

方針に沿って基本理念を実現するために、以下の3つを進めています。

Q

コンソーシアムの形成

- 新しく参画したい企業、組織と共に「仲間づくり」できる活動
- 新しい今治市を育てるためのコミュニティをデザイン

Q

アジャイル型

- 計画を立ててその通りに実行していくのではなく、  
勉強会・プロトタイプを重ねながら改良していく

Q

活動過程の広報  
(プロレスポンスデザイン)

- 経過を見せることで、仲間づくりのスピードを速める

2022年度「今治市デジタル未来戦略策定事業」





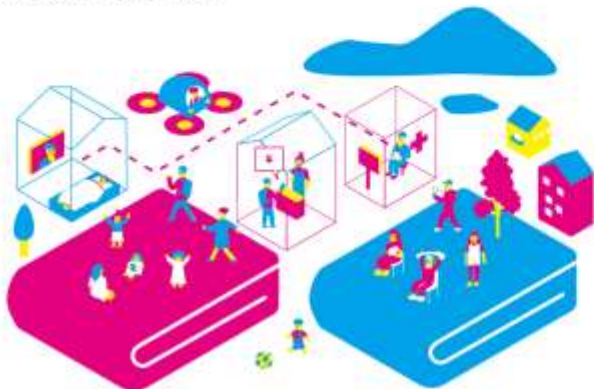
# デジタル未来戦略（概要版）

## 市民生活のDX

「市民が真ん中」の視点で市民や企業が  
主役となる暮らしをつくります。

やめるべきことをやめ、  
やるべきことを高度化します。

健診や予防接種などの子どもに関するデータを関係機関が連携して活用し、  
妊娠、出産、就学まで切れ目のない情報や支援をします。  
また時間や場所にとらわれない相談体制を整備し、安心して子どもを育てられる環境を整えます。  
そして、誰もがデジタルの恩恵を受けられるよう、環境の整備を進めるだけでなく、  
デジタルが苦手な方へのサポートを行います。  
またデジタルの普及とそれ自体を、高齢者と若者や移住者など、  
属性を超えた交流を生み出すきっかけにしています。  
加えて健診データや医療データに基づいて、AIが適切な受診、運動、睡眠を提案し、  
日常生活における生活習慣病予防や健康づくりを促します。  
また、介護や福祉の現場でもIoTによる見守りや人感センサーなどの導入を通じ、  
介護者の負担が軽減されるようにします。



02

## ミライマバリアクション

1. 子育て

- ① 子どもを守り育むICTネットワークによる切れ目のない支援(3歳までeOX)
  - LINEチャットなどを活用し、オンラインで24時間子育ての相談を可能に
  - AIを活用し、子どもひとりひとりに合わせた確やかな発達支援
  - 子育てアプリを活用し、健診や予防接種などの情報を成長にあわせたプッシュ型で通知

2. 働き方

- ② 誰一人取り残されないデジタル社会の実現(30代未満のハイパー成長)
  - SNSを活用した、ICTに親しむイベントの開催
  - 公衆Wi-Fiの拠点整備、高速インターネット回線の敷設推進中!
  - 公民館・郵便局にスマホ教室・スマホ相談窓口を開業中!



3. 暮らし

- ③ デジタルが支える健康といつまでも自分らしい暮らし(20歳から100歳のDX)
  - 健康アプリや健康ポイントを活用して、個人の健康づくりを推進
  - 健診データ・医療データ連携による市民の健康促進
  - e-スポーツを通じて、誰もが自分らしく活躍できる共生社会を実現
  - デジタル技術で要介護者を減らす「スマート福祉」を導入し介護現場の負担を軽減!

30代未満のハイパー成長とは、  
デジタル技術を活用して、  
誰もが自分らしく活躍できる共生社会を実現していること。

① 県民生活「30代未満のハイパー成長」とは、デジタル技術を活用して、誰もが自分らしく活躍できる共生社会を実現していること。  
② 健診データ・医療データ連携による市民の健康促進  
③ e-スポーツを通じて、誰もが自分らしく活躍できる共生社会を実現  
④ デジタル技術で要介護者を減らす「スマート福祉」を導入し介護現場の負担を軽減!

03

# デジタル未来戦略（概要版）

## まちづくりのDX

市役所から先進的なDX行政を取り入れ、この発想があったかというみんなに見せたいDXまちづくりのミュージアムを目指します。

美し♪部と陸地部にはたがる広い市域は、今治の暮らしを考えると大きな課題です。デジタルを活用し距離の不便を感じない、実現「ゼロ距離」生活を目標します。また、リモートワークやワーケーションなど、新しいスタイルで働きたい「転職なき移住者」や「多拠点居住者」にとって魅力的な環境であることをアピールして、移住者を多様な形で迎え入れます。



## ミライマバリアクション

①

しまなみ海道「ゼロ距離」生活の実現（生活圏全体のDX）

- 陸地部と島し♪部をライブでつないで、コミュニケーション促進や健康づくりに活用
- 自動運転やドローンを移動や配送に使う、生活をもっと便利に
- 市役所の支所と本庁をオンラインで接続し、身近な窓口で複雑な手続きや相談が可能な!

②

心地好く「住む」リモートで「働く」日常がワーケーションな移住先地域に「住む」

- オンライン移住ツアーやバーチャル移住体験、方言の魅力なども盛り込む
- 独自ポイントや地域通貨の導入も検討
- ワーケーションのモデルツアーを実施し、ガイドブックを作成!
- オンライン移住相談会、随時開催中!  
「いざばり暮らし」ホームページで移住情報を発信中!



①しまなみ海道は、道の駅や観光施設を活用し、デジタルを活用し、生活圏全体のDXを実現しています。

②「住む」リモートで「働く」日常がワーケーションな移住先地域に「住む」を実現しています。また、ワーケーションのモデルツアーを実施し、ガイドブックを作成しています。また、オンライン移住相談会、随時開催中です。また、「いざばり暮らし」ホームページで移住情報を発信しています。



# デジタル未来戦略（概要版）

## 行政のDX

デジタル・アナログにこだわるのではなく、  
住民対応のクオリティを高め、  
人と人とのつながりをより大切にするための  
手段としてDXを活用します。

24時間いつでも、どこからでも手続きできるオンライン市役所や、  
一つの窓口で手続きが完結するワンストップ化を目指します。  
そのために、まずは行政事務の整理化を行います。  
このため業務プロセス自体の見直しからはじめ、  
どうしてもなくせない事務処理の自動化、省力化を行います。  
デジタル化そのものを目的とするのではなく、時間のかかる義務的な  
仕事を減らすことで、窓口対応など人にかかわる業務に注力し、  
あたたかみのある市役所を目指します。



06

## ミライマバリアクション

【施策1】

1 時間や場所にとらわれずワンストップで  
サービスが受けられる市のひろ市役所「ほろまちe窓口」

- 行政手続きの順次オンライン化、ペーパーレス化
- AIチャットボットによる24時間問い合わせ対応
- 市民課にて「おやすみコーナー」「書かない窓口」「待たない窓口」実施中!

【施策2】

2 業務のデジタル化による生産性向上とスマートな行政運営（業務効率化DX）

- RPAにより業務を改善、職員によりよいサービスのための余裕をつくり出す
- オンライン申請により住民の利便性を高め、かつ、ペーパーレス化を促進
- RPAによる業務の自動化、順次導入中!



【ミライマバリアクション】は  
次のアクションプランを  
推進しています

- 業務改善（アイデアや案）にふさわしいもの（できることもできるもの）
- 検証中・検証中（まだ具体的な改善ではないが、検証しついでに実施しているもの、  
まわりの、他市町村で事例があるものなど）
- 試験導入（検証実施中）試験的に導入して、効果が確認できたら実施予定しているもの、
- 実施中（業務や、機材や関係機関で実施しているもの、今後の展開、実施が予定されているもの）

07





# デジタル未来戦略の実現に向けて

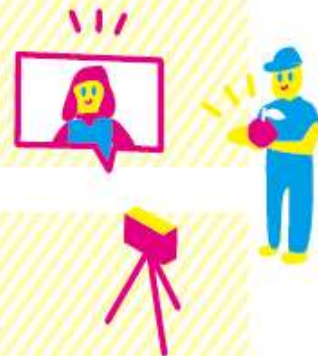
方針に沿って基本理念を実現するために、以下の3つを進めていきます。

## コンソーシアムの形成

- 新しく参画したい企業、組織と共に「仲間づくり」できる活動
- 新しい今治市を考えるためのコミュニティをデザイン

## アジャイル型

- 計画を立ててその通りに履行していくのではなく、勉強会・プロトタイプを重ねながら改良していく



## 活動過程の広報 (プロセスブランディング)

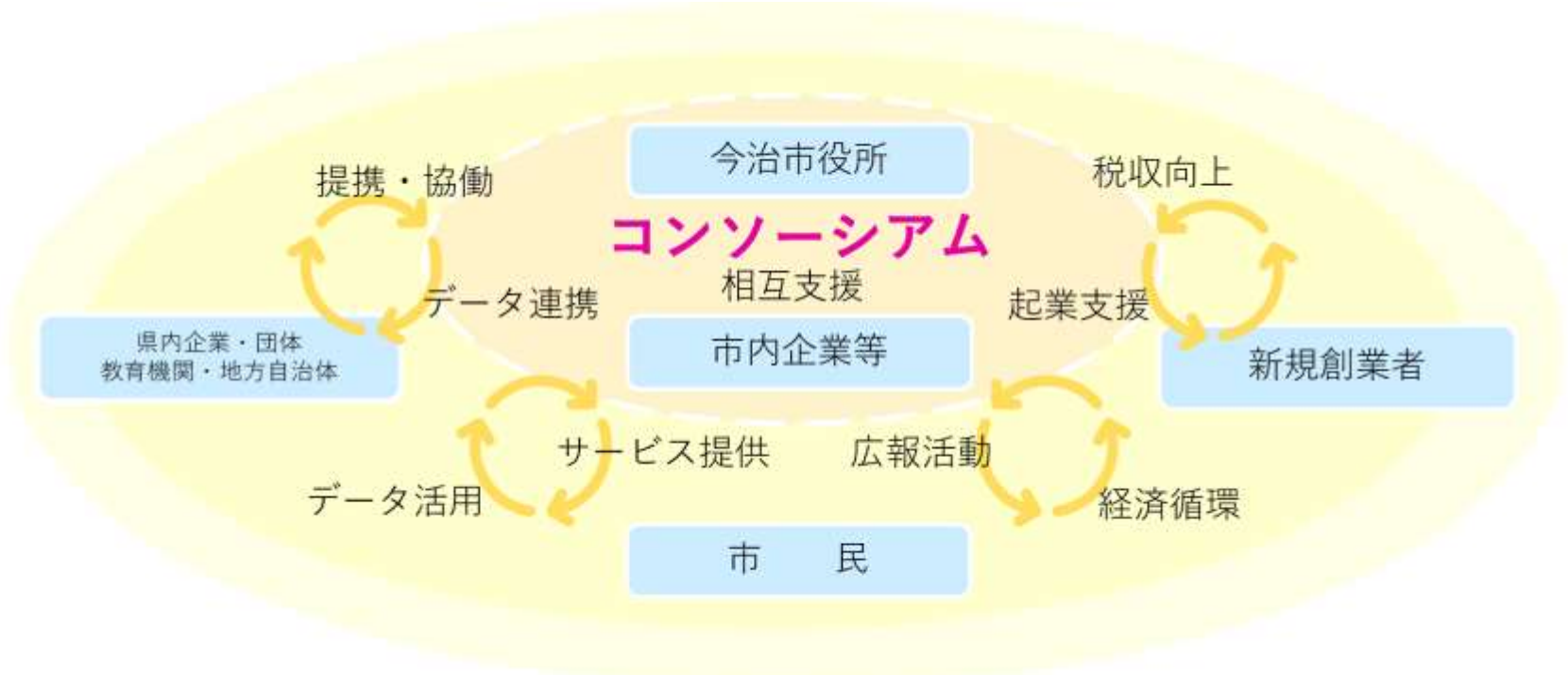
- 経過を見せることで、仲間づくりのスピードを速める





# 来年度に向けて (1/2)

## デジタル未来コンソーシアム



## ソーシャルキャピタル（社会関係資本）の形成



# 来年度に向けて (2/2)

## 今治市デジタル戦略会議イメージ図

### 今治市デジタル戦略会議

サービス提供

税収向上

市民生活

市民

今治市役所

相互支援 経済循環

まちづくり

デジタル未来コンソーシアム

既存企業等

スタートアップコンソーシアム

新規創業者

起業支援・DX支援

広報活動

行政

プロジェクトチーム

提携・協働  
データ連携

県内企業・団体  
教育機関  
県・地方自治体  
など



# 「未来の今治市」=ミライマバリに向けて

## 令和5年度に実装予定の事業等

### まちづくりのDX

- デジタル未来コンソーシアム：（未来デジタル課）8,000千円
- クラウド型監視装置による水管理体系構築：（農業土木課）15,500千円

### 市民生活のDX

- チョイソコ（オンデマンド交通）：（市民が真ん中課）13,000千円

### 行政のDX

- 書かない窓口：（市民課）15,000千円
- 電子申請システム導入：（未来デジタル課）750千円
- 移動市役所（行政MaaS）導入実証：（市民が真ん中課）8,609千円

